

令和2年3月18日

長野市緑を豊かにする委員会資料

ながの花と緑大賞 2021 審査内容等見直し提案

提案 ①

- 【審査区分】
1. 団体部門
 2. 個人部門
 3. 企業部門

【評価項目】

活動 状況	コミュニケーション
	創意工夫
	堆肥化取組み
花壇 評価	デザイン性
	植生
	宿根草使い
	メンテナンス

【表彰】

種類	実数
大賞	1
優秀賞	1
コミュニケーション賞	設定なし
デザイン賞	〃
アイデア賞	〃
特別賞	〃
参加賞	全応募者

※ 愛護会活動は努力賞

提案 ②

- ・時代の希求を部門に反映して緑化に取り組みやすく評価しやすくする

- ①コミュニティ部門 （路地の住民がシンボルフラワーを選んで各家の感覚で飾って通りを特徴づけている）
- ②エコ・環境部門 （生ごみでたい肥作りをして花壇を造った）

- ③アイデア部門 （種まきで節約して造っている）
- ④デザイン・景観部門 （公開性の高いイングリッシュガーデンを造っている）
- ⑤緑のカーテン部門 （小学校のクラス単位で取り組んだ）
- ⑥壁上・屋上緑化部門 （注：ビルのほか一般住宅でも結構出てきています）

- ・市が市民にどんな緑化を期待しているかがよくわかり、取り組みやすくなり、また、応募しやすくなる。
- ・市民にやりがいや手応えを感じてもらいやすくなる。

提案 ③

- ・現在の審査基準によりきちんと審査が行われているのであれば、賞金と記念品はあった方がよい。
- ・基金の減少から効率化が必須ならば、作品集を冊子として制作するのはやめてホームページ内に作品集へのリンクを設ける。
- ・「わたしの花と緑」へ応募いただいた作品は、作品集のリンクとは別にホームページに掲載したり「広報ながの」表紙へ掲載したり庁舎ロビーへ写真展示するなどのやり方をしてみてはどうか。

【Q&A】

Q：募集方法の中に、市のホームページや「広報ながの」も含まれていますか？

A：チラシ配布の他に、ホームページや「広報ながの」でも募集します。
また、報道関係へのプレスリリースも行います。

Q：大賞とは全く関係ありませんが、都市政策課の景観賞の中で、花や緑が豊かな景観があれば、その保護（市による買い上げなども含む）を行うことも、緑化の推進とは言いませんが、街の緑の保護になるのではないのでしょうか。

A：景観賞を受賞した作品については、市では、現在のところ、受賞後のメンテナンス等については、指導や状態が保たれているかの確認を行っていませんが、花と緑大賞受賞者の方々も含め、継続して管理をしていただくようお願いしております。

令和2年度 委員会開催スケジュール（ながの花と緑大賞 2021 審議内容）

日 時	審議内容
第13期第1回（R2・1・21）	審査内容等の見直し 賞金について審議
第2回（R2・3・18）	審査の見直しの提案内容について
第3回（5月頃）	事務局案（素案）の提示 意見交換 → 修正
第4回（7月頃）	修正案の提示、審議（6月末に行う花と緑大賞2020の審査での感想、問題点の抽出）
第5回（10月頃）	ながの花と緑大賞2021内容決定
第6回（12月または 1月頃）	ながの花と緑大賞2021募集要綱（案）作成・提示 承認後、募集チラシ作成、広報ながの掲載準備